

アイザワ証券株式会社
2022/01/17
審査番号：220117-A1

ベトナム 現地情報

2022年1月号

ジャパン証券
現地駐在員 北山亨

CONTENTS

- ・ 駐在員の目
「大気汚染から感じる成長国ベトナム」
- ・ マーケット概況
「プレイバック・2021年のベトナム市場」
- ・ 現地発信・今月のベトナム株
「ビンホアン水産、カマウ冷凍水産輸出入加工」
- ・ ハノイ街角 銘柄散策
「FPTリテール、サイゴンビール・アルコール飲料」
- ・ マーケットデータ



JSI

駐在員の目

大気汚染から感じる成長国 ベトナム

ハノイは雨の少ない乾季に入り、最近では大気汚染が深刻です。工業化によりベトナムは発展してきましたが、都市部では空気の汚染が進んでいます。ベトナム保健省によれば国民の10大疾病のうち、3つが呼吸器にかかわる疾患です（肺炎、咽喉炎、気管支炎）。その中で当局は現状打破を目指し、2025年を目標に市中心部へのバイクで乗り入れを禁止する計画を策定したり、ベトナム初の都市鉄道となるハノイメトロの開業を推し進めるなど対策を打ってきています。

また民間ではビンググループ傘下のビンバスがハノイ市内で電気バスの運行をスタートさせ、同じく傘下のビンファストが昨年未から電気自動車の販売を始めるなど、ここベトナムでも環境への意識が少しずつ高まってきてるようです。都市部の大気汚染は成長国の証であると思います。イギリス、日本、中国、工業化によって成長してきた国は大気汚染とともにありました。ベトナムもまさにその過渡期にあると思われます。

大気汚染でかすんだハノイの街並み



晴れた日のハノイ様子



ハノイメトロ



ビンググループの電気バス

マーケット 概要

プレイバック・2021年のベトナム市場

個人投資家の躍動

2021年はVN指数にとって飛躍の年になりました。カギとなったのが国内個人投資家の増加です。この1年間に約153万人が口座を開設し、その増加率は前年同期比で+390%と驚異的なものでした。個人投資家のマーケットへの新規参入は売買代金に如実に表れており、ホーチミン取引所の売買代金は前年同期比で3.4倍の増加となりました。売買代金の8割以上を個人投資家が占めました。

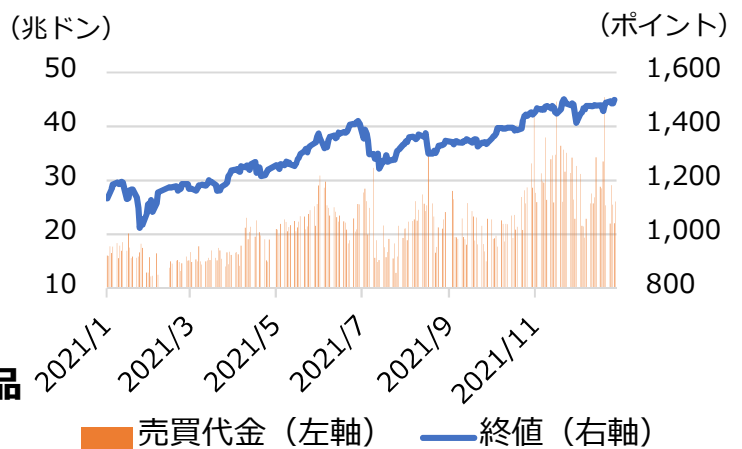
ウィズコロナへの政策転換

また経済を止めることもいとわない徹底的な隔離政策から経済との両立を目指す政府の政策転換、そして第3四半期の好業績が株価の追い風となりました。VN指数は7月につけた1,400ポイントを大台を抜け、さらに1,500ポイントをつけました。しかしワクチン接種率が進むものの、足元でコロナ感染者が増加しており、今後当局の対応に注目が集まります。

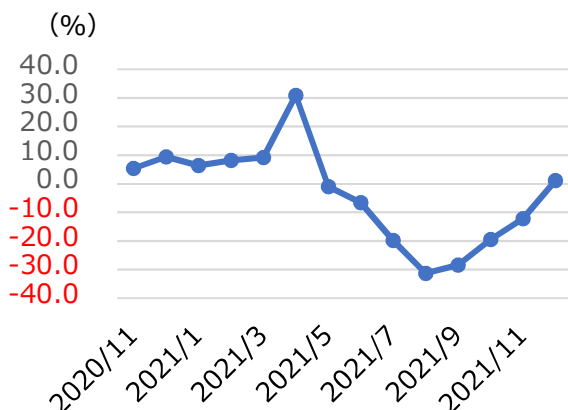


スーパーでは旧正月に向けて贈答品が陳列され始めた（ウィンマート）

(表1) 2021年のVN指数と売買代金



小売売上高（サービス含む）の伸び



ウィズコロナで消費需要も回復傾向

(表2) 新規の証券口座開設件数
(国内個人)



出所：国家統計局のデータよりJSI作成

現地発信 今月のベトナム株

ここではベトナムの有望企業を訪問し、現地の最新情報をチェックしていきます。（※コロナのため、オンライン訪問です）

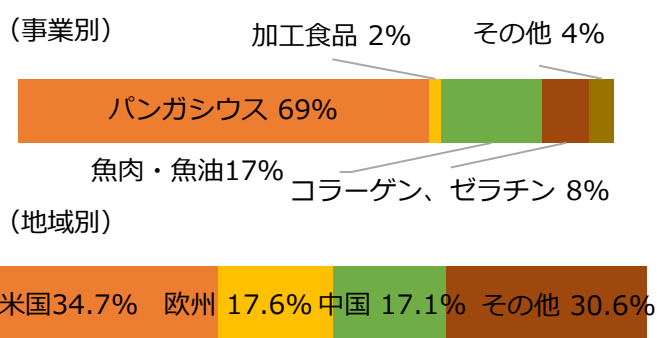
ビンホアン水産 (VHC : Y3373)



[写真] スーパーで販売されているパンガシウス

1997年に設立された国内最大のパンガシウス生産会社。主要な輸出先である米国市場での消費需要の回復とパンガシウスの供給ひっ迫を背景に、第3四半期売上高は23%増、当期純利益は46%増と好調でした。特に新型コロナウイルスの影響で供給量がひっ迫したことは同社の卸値に有利に働きました。

売上高構成比



基本データ

終値 (1/12)	63,900VND
売買単位	100株
時価総額	約586.6億円
予想PER	14.27
外国人保有率	26.47/100

売上高・純利益

単位：10億VND	20年 7月～9月	21年 7月～9月	前年同期比	20年 1月～9月	21年 1月～9月	前年同期比
売上高	1,816	2,232	23%	5,152	6,366	24%
税引き後純利益	175	256	46%	552	649	18%

現地発信 今月のベトナム株

ここではベトナムの有望企業を訪問し、現地の最新情報をチェックしていきます。（※コロナのため、オンライン訪問です）

カマウ冷凍水産輸出入加工（CMX）

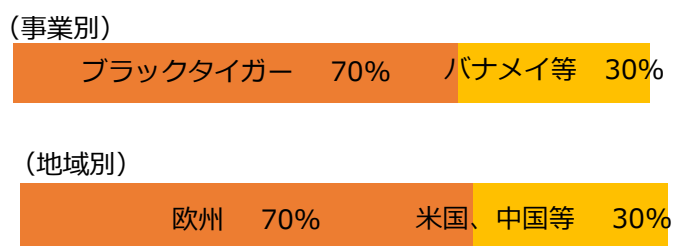
CMXはアイザワ証券の取り扱い銘柄ではありません。



【写真】 同社の手掛ける
有機養殖のエビ

同社は1977年に設立された国内有数のエビの輸出加工会社です。国外への輸出が売上の9割を占めており、主に欧米に輸出されます。同社が扱うエビは有機養殖です。有機養殖のエビは養殖物に比べて価格が高く、利益率が高いことが特徴です。現在、同社は米国向けの付加価値商品を生産する工場の建設を計画し、2023年に米国単体で売上高1兆ドンの達成を目指しています（2020年は全体で約1兆4,000億ドン）

売上高構成比



基本データ

終値 (1/12)	19,000VND
売買単位	100株
時価総額	約87.1億円
実績PER	12.44
外国人保有率 (%)	8.71/50

売上高・純利益

単位：10億VND	20年 7月～9月	21年 7月～9月	前年同期比	20年 1月～9月	21年 1月～9月	前年同期比
売上高	403	528	31%	1,123	1,436	28%
税引き後純利益	17	28	67%	44	59	33%

ハノイ街角 銘柄散策

ここではハノイの街角で見つけたベトナム企業を紹介していきます。

FPTリテール (FRT : Y5624)

携帯電話、ノートパソコン、タブレット等を販売するFPTショップ、Apple製品の専門店であるF.Studioを全国で展開しています。同社はノートパソコンの売上が国内トップ、そして携帯電話の売上也国内2位となっています。特に今年はiPhone13が発売され、ここベトナムでも品薄状態が続いています。

同社で近年注目すべきは2017年にスタートさせた薬局事業です。Long Chauブランドの薬局は、現在全国に406店舗を持つまでなっています。コロナ下でも閉店せず、特にオンライン販売を充実させたことでコロナ第4波では売り上げが10倍に伸びました。



全国に展開する
FPTショップ

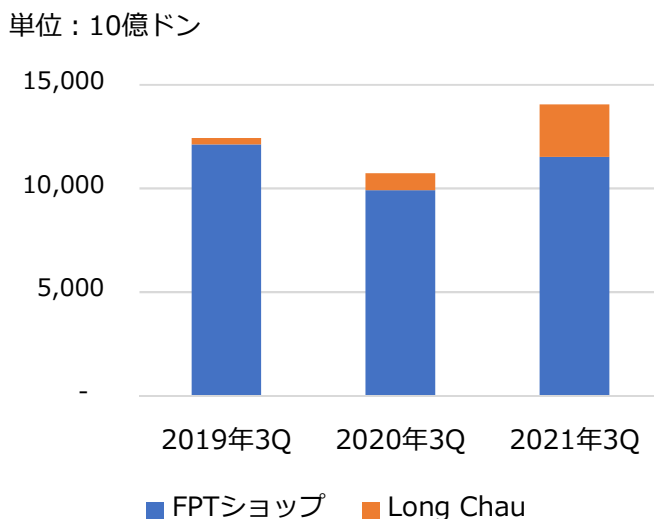


薬局のLong Chau
(ロンチャウ)

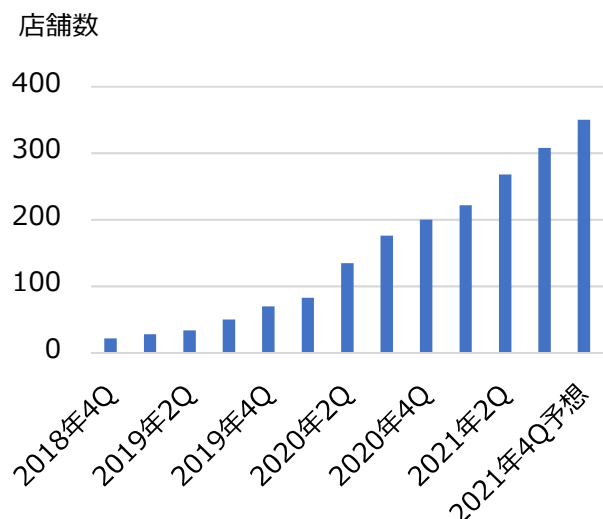
基本データ

終値 (1/12)	80,600VND
売買単位	100株
時価総額	約321.2億円
実績PER (倍)	55.7
外国人保有率 (%)	19.35/49

(図1) FRTの売上高推移



(図2) Long Chauの店舗数推移



写真：JSI撮影 データ：各企業HP、Fiinpro、Bloomberg

ちょっと深掘り

👉 ベトナムのドラッグストア業界

家電の小売大手であるテーゾイ・ジードン投資（MWG）も同じく2017年からドラッグストア事業に参入しています。同社はFPTリテールと長年iPhoneの販売でライバル関係にあります。

異業種からの参入の背景に携帯市場の飽和状態が考えられます。ベトナムでは携帯保有率が100%を超えており、新ビジネスを求め参入してきました。

世界的な格付け会社として知られるフィッチグループの調べによるとベトナムの医薬品売上高は2021年に77億ドル、2026年に161億ドルになると予想されています。



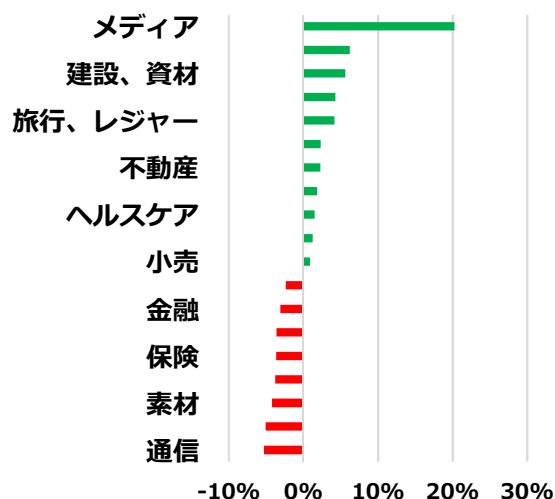
国内最大手のPharmacy

マーケットデータ

主要指数	終値（21年12月末時点）	年初来騰落率	実績PER
VN指数	1,498.28	33.72%	17.48
HNX指数	473.99	129.78%	30.59
VN30指数	1,535.71	40.65%	14.64

主要マクロ指標	月間（12月）数値
PMI	52.5ポイント（前月52.2ポイント）
消費者物価指数	前年同期比1.81%増
貿易収支	25億米ドルの黒字
鉱工業生産指数	前年同期比8.7%増の165.7ポイント
2021年の海外直接投資（FDI）	前年同期比9.2%増の311.5億米ドル

12月の業種別騰落率



免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者またはジャパン証券と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

写真：JSI撮影 データ：各企業HP、Fiinpro、Bloomberg、ベトナム国家統計局（GSO）

金融商品取引法に基づく表示事項

■ 本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

外国株投資の主なリスクと留意点

株価・為替の変動リスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。外国株式は、為替の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

流動性リスク

流動性が低い銘柄の場合、市況または注文の規模により、望ましい価格での売買注文の執行が常に可能とは限らず、極端な場合、取引ができないことがあります。

カントリーリスク

投資対象国の経済的要因、政治的要因、社会情勢の混乱により、株式市況が影響を受けることがあります。また、各国の慣習や文化などの違いにご注意ください。

お客様にご負担いただく手数料等について

外国証券の外国取引にあたっては、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます（最低手数料は買いの場合のみ 5,500 円）。

対面口座： 売買代金の一律 2.20%

インターネット口座「ブルートレード」： インターネット発注 売買代金の 1.65%、コールセンター発注 売買代金の 1.98%、コンサルネット発注 売買代金の 2.20%

外国証券の売買等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。お取引の際は、契約締結前交付書面等をよくお読み下さい。

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE 公式アカウント はじめました！

ベトナムを中心とした
アジア情報をお届けします
[友だち追加はこちら！](#)



ID: @aizawa